



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 13

H30. 7. 11発行

～地域内の特別支援教育の核として～

地域へつなぐ、チームでつなぐ

日頃より、当センターにご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度、県の新規事業「切れ目のない支援体制整備事業」により、県内全ての県立特別支援学校に「地域支援センター」が設置され、また同時に本校15校に「教育支援アドバイザー」が配置されました。

いわき支援学校では、平成26年度に「地域支援センターかぜくも」を立ち上げ今年度で5年目を迎えます。この間、当センターでは来談者の相談を始め、いわき市内の幼稚園、小中学校、高等学校等への出かける支援や研修支援（ミニセミナー）、さらには就学前のお子さんの保護者さんを対象とした早期教育相談（かぜくもひろば）や勉強会（かぜくも教室）などを実施し、地域内の特別支援教育の核としてその機能を果たす役割に努めてきました。

今年度はさらに「教育支援アドバイザー」と連携するなかで、地域や小中学校等のニーズに応じたよりきめ細かな支援が期待されます。

本校教職員のもつ専門性が発揮できる組織・チームをつくり、特別支援教育の経験豊富なスタッフを準備しておりますので、お子様に関することでお困りのことなどがございましたら、どうぞお気軽に当センターまでご連絡をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

いわき支援学校長 佐藤 清悦



就学前のお子さんの遊びの場 かぜくもひろば



6月19日（火）に第一回のかぜくもひろばが行われ、就学前の6名のお子さんとその保護者の方々が参加されました。初めての参加が多く、来校すると学校の中を友達と探検してみるお子さんが多数いました。「お集まり」では名前を呼ばれてタンバリンを鳴らしたり、「バスにのって」ではお母さんの膝の上でゆらゆらガタガタを楽しんだりするなど、それぞれ挑戦したり楽しんだりしている様子が見られました。自由遊びの頃には緊張も解け、好きなおもちゃをみつけて遊ぶこともできていました。参加された保護者の方からは「いろいろなお友達がいる中で楽しく参加することができ、とても良い刺激になりました。」「先生方が一人一人付いてくれるので、安心して過ごせました。」などのご感想をいただきました。



就学前の保護者さんの学校見学会

5月24日に学校見学会が行われ、就学前のお子さん（年長児）の保護者さんと療育機関のスタッフなど42名の方が来校されました。

初めに本校教務主任より学校の概要について、続いて地域支援センターより「地域支援センターかぜくも」と「就学までの流れ」について説明が行われました。

その後2つのグループに分かれて、小学部では主に運動会に向けた生活単元学習、中学部ではスポーツフェスティバルに向けた生活単元学習、高等部では作業学習の様子を見学していただきました。

参観された皆さんは、支援学校で行われている授業の様子を熱心に参観されていました。

✿✿✿✿✿✿✿ 「子どものやる気を引き出す言葉掛け」 ✿✿✿✿✿✿✿

子どもが安心し、自尊感情が高まる対応として著書の中で、平山氏は以下の5つを挙げています。

「①見つめる」「②ほほ笑む」「③話しかける」「④ほめる」「⑤触れる」

自分の娘や息子に対して、はたして、自分はこのような対応をしているのかと自身の反省も含めて書きました。皆さんはどうでしょうか。また、著書の中で、子どもが安定する言葉掛けとして以下7つの言葉掛けを紹介しています。

1 「そうなんだ」「そう」を使う。

○ 子どもが否定語を使ったときは、「そんなことを言うてはいけません」と言うよりは、

「めんどくせえ」などに対して「そう」と言う。「そう」は事実を認める言葉掛けであるため、相手の心を傷つけません。

2 「すてき」「ばっちり」と短いフレーズで元気よくほめる。

○ 相手の目を見てしっかりとほめましょう。

3 「すてきだね。○○君」と名前を付けてほめる。

○ これも相手をしっかり見て、恥ずかしがらずにほめましょう。

4 「できるようになったね」と成長や達成を実感できるようにほめる。

○ 「できない」ではなく、「ここまでできた」という見方をします。

例えば「字が汚い」 → 「ここまで丁寧に書けたね」

「音読をしていない」 → 「読み方はきれいだったね」 など、できたことをほめましょう。



5 「○○したらうれしいな」など期待効果を狙ってほめる。

○ 例えば「○○しなさい」という命令口調はNGです。

「役割を与える」ことで、自分が認められているという感覚が生まれます。

6 「(ノートに)書いてる、書いてる」「いい顔、いい顔」など、にっこりほほ笑んで事実を話題にする。

○ 二回繰り返すことで言葉にリズムができ、子どもがかまってもらっているという感じももてるのがポイントです。

7 「高得点主義」

○ 「おいしい! 90点」と言えば、たとえ間違っていたとしても、90点なので、間違った感じがしませんよね。

皆さんどうでしょうか。否定的な言葉掛けは、本人の自尊感情を下げるだけでなく、周りの子どもの評価も下げることにつながります。是非、やる気を引き出す言葉掛けを心掛けたいものですね。

(参考文献 平山諭著「満足脳にしてあげればだれもが育つ!」ほおずき書籍)

教頭 加茂

✿✿✿✿✿✿✿ 幼・保・小・中・高校の先生方へ ✿✿✿✿✿✿✿

<研究会セミナーIのご案内>

平支援学校を会場に7月26日(木)に「いわき地区特別支援教育研究会教育セミナーI」が開催されます。午前中は分科会が行われ、本校の地域支援センターの教育支援アドバイザーの鈴木貞安先生による「発達検査の結果を指導に活用しよう」の内容で講義を行います。分科会と午後の全体会の間にいわき市内の特別支援学校の職員による「教育相談会」も合わせて行いますので、お子さんの相談等でご活用ください。ご参加をお待ちしています。

<ミニセミナーのご案内>

小・中・高等学校等の先生方への研修支援として、下記の日程で本校を会場に、ミニセミナーを行います。時間は16:00~16:45です。特別支援教育に関心のある方の参加をお待ちしています。

7月23日(月)「ゆっくり学ぶ子のための国語、算数」講師:本校小学部教諭

8月24日(金)「今から知ろう、一般就労と福祉就労」講師:障害者就業生活支援センター所長 栗村様

10月31日(水)「LD、ADHDの困難さを知ろう」講師:本校小学部教諭

11月21日(水)「子どもの療育と保護者支援」講師:NPO法人わくわくネットいわき 新妻様

お問い合わせ (☎34-3806)



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 14

H30. 12. 7 発行

未就学児童の保護者さんの

かぜくも教室

かぜくも教室は、就学前のお子さんの保護者さんを対象とした勉強会です。

第1回「サポートブックを書こう」では、本校の曾川清恵教諭が講師を務め、サポートブックの意義や活用方法について、実践を交えての講座を行いました。

第2回「子どものいいところを見つけよう」では、本校の教育支援アドバイザーの鈴木貞安先生が講義を行い、子どもの行動への対応やほめるときのポイントなど、具体的な例を挙げてお伝えしました。子育てに関して困っていることや悩んでいることなども話題に挙がり、助言や情報提供も行われました。

第3回「先輩お母さんの話を聞こう」では、2名の本校高等部保護者を講師にお迎えし、保育園時代から高等部まで、それぞれの段階での悩みや乗り越えてきたこと、家族のことや卒業後の進路について思うことなど、お話を聞かせていただきました。参加した保護者さんからは、「話を聞いて、質問なども話せてとても嬉しかったです。」「就学や生活、家族についての話を聞いてとても勉強になりました。」などの感想をいただきました。

次回は12/14(金)「ことばを育てる」を開催予定です。参加を希望される方は、地域支援センターまでお問い合わせください。



～出かける支援～

これまでの出かける支援では、全学校種を訪問してきましたが小学校からの訪問要請が多い状況と なっています。特徴的な事として、特別支援学級・通常学級在籍いずれの場合も情緒面でのコントロールを苦手としている子の相談ケースが多くみられました。

学習中の子供の状態を見て、担任、支援員、管理職と交えて対応の在り方について話し合ったり、来校して頂いた保護者との話し合いを持ったりしながら対応することもあります。

【これまでの相談内容】

- ・友達への関心がなく、騒がしい声を苦手としている幼児への支援（幼稚園）
- ・常に落ち着きがなく、思い通りにならないと教師や友達に暴言を吐く。（幼稚園）
- ・ADHD 傾向があって、友達との関係で問題傾向がある児童・生徒（小学校・高校）
- ・不安感が強く、教室に入れたい、飛び出すなどが見られる児童（小学校）
- ・ADHD の診断を受けていて、子供同士でのコミュニケーションが苦手な児童（小学校）
- ・国語や算数を全くやろうとしない。多動で離席も多くみられる児童（小学校）
- ・授業をしっかり受けているが理解するまでに時間がかかる生徒（中学校）

ミニセミナー ～特別支援教育について～

ミニセミナーは、市内の先生方を対象とした特別支援教育にかかわる勉強会です。今年度は4回の実施となりました。

第1回目のテーマは「ゆっくり学ぶ子のための国語、算数」。本校の佐原絵里子教諭を講師として、具体的なつまずきの事例から指導の工夫まで多岐に渡ってお話いただき、明日の指導に生かすことのできる内容でした。

第2回は「今から知ろう、一般就労と福祉就労」です。いわき障がい者相談支援センターの白土修様、いわき障害者就業・生活支援センターの佐藤香様より、本校生徒の卒業後の就労状況から、現在抱えている就労への課題、さらには小学部段階からの就労に向けての指導についてのお話をいただきました。

第3回は「LD,ADHDの困難さを知ろう」というテーマで、本校の上遠野真理教諭よりお話をいただきました。テレビ画面の文字が見えにくい、読みにくい、時間がかかる上に、指導者のことばかけで大いに焦るといった時間を過ごす中で、どのような困難さを抱えているのかを実感することができました。

第4回は「子どもの療育と保護者支援」で、わくわくネットいわきの新妻陽子様よりお話をいただきました。さまざまな支援のあり方を勉強され、丁寧な療育をされていることを知り、改めて学校という場でも生かしていきたいと思いました。必要のない支援ははずしていく、ということばが印象的でした。

短時間ではありますが、このような勉強会をとおして少しでも子どもに寄り添った指導・支援をしていきたいと考えています。



学校公開が行われました！

11月7日～9日までの3日間、「ふくしま教育週間」の趣旨を踏まえ、本校の教育及び特別支援教育について一層の理解を深めていただくことを目的に学校公開が行われ、地域住民や関係機関、保護者の方々などが多数来校されました。

学校説明会では、本校の概要説明及び地域支援センターかぜくもについての説明を行いました。また、小学部・中学部・高等部それぞれの授業の様子や掲示物などをみていただきました。

参加された皆さんからは、

「児童生徒の皆さんが生き生きと活動していた。」

「普段見られない様子を見ることができた。」

「わかりやすく授業が進められていた。」

などの感想をいただきました。





かぜくも

いわき支援学校
地域支援センター通信 No. 15
H31.3.4発行

地域の先生のための ミニセミナー

ミニセミナーは、地域の先生方が本校に来校し、一緒に勉強する会です。今年度は、幼稚園・小学校・中学校・福祉サービス事業所の担当者の方など、多くの先生方の参加がありました。

今年度の4回の実施から、「もっと時間があれば。」「もう少し詳しく知りたい。」「何回聞いてもいい。」などの感想をいただきました。今後も、さまざまな立場で子ども達とかかわっていらっしゃる先生方と一緒に、子ども達へのよりよい指導や支援を目指してともに学んでいきたいと考えております。

次年度の内容については検討中ですが、子ども達と向き合ったときにふと思い出せるような内容になるようにと考えております。どうぞご期待ください。

たくさんの先生方のご参加、ありがとうございました。また次年度よろしくお願いたします。



就学前のお子さんの遊びの場 **かぜくもひろば**



6月19日（火）に第一回のかぜくもひろばが行われ、就学前の6名のお子さんとその保護者の方々が参加されました。初めての参加が多く、来校すると学校の中を友達と探検してみるお子さんが多数いました。「お集まり」では名前を呼ばれてタンバリンを鳴らしたり、「バスにのって」ではお母さんの膝の上でゆらゆらガタガタを楽しんだりするなど、それぞれ挑戦したり楽しんだりしている様子が見られました。自由遊びの頃には緊張も解け、好きなおもちゃをみつけて遊ぶこともできていました。参加された保護者の方からは「いろいろなお友達がいる中で楽しく参加することができ、とても良い刺激になりました。」「先生方が一人一人付いてくれるので、安心して過ごせました。」などのご感想をいただきました。





未就学児童の保護者さんの **かぜくも教室**



12月14日(金)に今年度最後のかぜくも教室が行われました。第4回は、本校教諭の古川英樹先生に「ことばを育てる」をテーマにお話していただきました。就学前のお子さんの保護者10名の参加がありました。一緒に遊ぶことや生活の中で、子どもが「ことばを話すことは楽しい」と思えることの大切さを再確認させられる講義でした。参加された保護者さんからは、「普段の生活の中でもことばを育てるためのきっかけが沢山あるんだなあと感じました。」「子どもといろんな体験をしてことばを育てていきたいと思います。」など、多くの感想をいただきました。講義終了後、本校高等部の実習報告会を見学し、充実した会となりました。



地域支援センターかぜくもの活動状況

○小・中・高の先生方の研修支援
ミニセミナー (62名)

○かぜくも相談 小・中・高 (88件)
・電話、来校相談 (62件)
・でかける支援 (26件)

○早期教育の充実

・かぜくもひろば (53名)
・かぜくも相談(就学前) (27名)
・学校見学会(年長) (37名)
・学校公開(年少・年中) (34名)

～今年度を振り返って～

今年度、福島県の「切れ目のない支援体制整備事業」により、教育支援アドバイザーが配置されました。アドバイザーが配置されたことで、幼稚園、小学校、中学校、高等学校への「出かける支援」をより充実させることができました。

「かぜくもひろば」や「かぜくも教室」、「ミニセミナー」も実施され、多くのお子さん保護者さん、先生方に参加していただきました。これらについては、来年度も引き続き実施する予定であります。

今後とも、地域のニーズを踏まえながら、地域センターかぜくもの充実を図っていききたいと思しますので、どうぞよろしくお願いたします。

お知らせ

地域支援センターに、相談専用電話が設置されました。

今後、相談等にご活用ください。

電話番号：080-7512-8323

受付時間：9時から16時 (月～金)

